

○南硫黄島の植物リストへの追加 (津山 尚) Takasi TUYAMA: An addition to the flora of Minami-iwoto or Isl. San Augustino

1981年6月11～12日、日本シダの会会員7名で組織された一隊が南硫黄島に上陸して植物採集を行った。その際、風向き都合で北岸に上陸して登高を試みたが、海蝕のきびしい地形にはばまれ、特に海拔100 m付近で急峻な岩壁に出合ってそれ以上の高度に達することはできなかった。隊員の中、シダ類の専門家中池敏之博士(国立科学博物館)および安井隆弥氏(小笠原高等学校)から同島の多数の採集標本をもらい東大の標本室に収めた。この人々はまだ充分には知られていない同島の植物の調査を目的とし、その一部に成功したが、大変な苦労を重ねられたのである。しかし、採集標本を一括して発表する計画はないとのことである。採集品の中には、小生が1936年に採集した同島の植物のリスト(本誌 56: 319-323, 1981)に含まれていない種類があった。そこで両氏の了解を得て以下に発表することにした。この件に関して両氏に深く感謝する次第である。ただしオキナワウラボシについては倉田 悟・中池敏之: 日本のシダ図鑑 第2巻(1981)に南硫黄島が産地として発表されていることを中池氏の指摘で知った。ヤンバルタマシダについては大場秀章博士が東北大学理科報告(生物)36: 94(1971)に“Minami-iwoto? Shishido”として疑問符つきで京大の標本を引用していることを付記しておく。

下記のリストにも、1981年に発表したリストにも雑草がかなり含まれている。南硫黄島はずっと無人島のままであったが、前に記したように漁民が海岸に上陸したほかに、後で聞く所によると、戦前のある時代(大正時代?)に海鳥を捕獲するために、かなり多くの人々が同島に登ったということである。雑草の中にはこのようにして同島に持込まれたものが多くあると考えられる。

リストの中の雑草で興味があったのは *Emilia fosbergii* Nicols. であった。日本シダの会の隊員が南硫黄島から父島に帰還した時に、小生も同島で採集品を生の状態で見せてもらったが、この *Emilia* はウスベニニガナ *E. sonchifolia* の頭花が淡紫色であるのと異って濃褐紅色であるのに注目した。このことを原 寛博士に話した所Nicolson氏が *Systematic Botany* 5: 391-407 で太平洋地域の *Emilia* を論じ、既に中硫黄島にあることを報告していることを知らされた。*E. fosbergii* は新大陸の熱帯に分布の中心をもち、太平洋の諸島には比較的新しく分布したものの由である。中硫黄、グェム島、ケゼリン島など大きい飛行場のあった島がある程度その分布の新しい中心になったものらしい。

Nicolson 氏の報告を見ると、細胞分類学的研究と taxonomy を論じているのであって、太平洋地域の同属を3種、1変種にまとめているが、倍数体系列や種間の交雑もととりあつかっていて、個々の標本の中には必ずしも分類学的命名になじまないものの例を挙げている。小生はここで一応南硫黄のものを *E. fosbergii* としたが、葉に明かな鋸歯があり、頭大羽状分裂にならず、総苞は広円形の特徴があり、これらは Nicolson

氏の記述と合致するが総苞片の形などに少し異なる点がある。この標本の形態については少し時間をかけて研究して見たい。

Urticaceae イラクサ科

*Boehmeria nivea* (L.) Gaud. ナンバンカラムシ

Papaveraceae ケン科

*Corydalis heterocarpa* Sieb. et Zucc. var. *brachystyla* (Koidz.) Ohwi

ムニンケケマン

Primulaceae サクラソウ科

*Lysimachia mauritiana* Lam. ハマボッサ

Solanaceae ナス科

*Solanum nigrum* L. イヌホウズキ

Compositae キク科

*Emilia fosbergii* Nicols. ナンカイウスベニニガナ (新和名)

*Erigeron sumatrensis* Retz. オオアレチノギク

*Sonchus oleraceus* L. ハルノノゲン

*Youngia japonica* (L.) DC. オニタビラコ

Gramineae イネ科

*Lepturus repens* (G. Forst.) R. Br. ハイシバ

Filicales シダ類

*Microsorium scolopendrium* (Burm. f.) Copel. オキナワウラボシ

Occurrence of this species on Isl. San Augustino is mentioned by Kurata & Nakaike (Illustrations of Pteridophytes of Japan 2: 517. 1981).

*Nephrolepis hirsutula* (G. Forst.) Pr. ヤンバルタマシダ

*Pteris Fauriei* Hieron. ハチジョウシダ

*Sphenomeris biflora* (Kaulf.) Akasawa ハマホラシノブ

On 11th and 12th of June 1981, a small plant collection was made on Isl. San Augustino by a party named Botanical Expedition of Nippon Fernist Club. Dr. Toshiyuki Nakaike (National Science Museum, Tokyo) and Mr. Takaya Yasui (Ogasawara Higher School, Bonin) of the party kindly gave me some of the important specimens for identification. The plant species mentioned above are newly added to my tentative list of plants of Isl. San Augustino, that is published in this Journ. 56: 319-323, 1981. All these specimens are deposited in TI.